

刑 法

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は 1 枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆のいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック製消しゴムで消せないものに限りです）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1 行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は 60 分です。
- VII 問題は 1 ページにあります。

刑 法

知人同士である X（女性・40 歳）と Y（男性・41 歳）は、近所の A（女性・25 歳）が最近親の遺産を相続したことを知り、共に A 宅に強盗に入って金品を得ることにした。その計画の内容は、Y がまず A を脅して裸にしてその姿を撮影し、A が抵抗できない状況にした上で金品を得るというものであった。

4 月上旬の深夜、X と Y は、A 宅の裏口の鍵を壊して屋内に侵入し、寝ていた A を起こし、Y が A に包丁を突きつけながら「着ている物を全て脱げ」と申し向け、恐怖のあまり言う通り裸になった A の姿を X が撮影した。Y は、A に再度包丁を突きつけ、「金目の物はどこだ。正直に言わないとお前の写真を世間にばら撒くぞ」と A に問いただした。A は震えながら、「隣の部屋の金庫の中にお金が入っています。暗証番号は〇〇〇です」と返答した。そこで Y はそのまま A を見張り、X が隣の部屋に行って金を取ってくることにした。

Y は A を見張っていたが、裸体の A を見ているうちに、突如 A に対して性交の意を生じ、恐怖で抵抗できない状態にいる A を押し倒して口を塞いだところに、X が 1,000 万円の現金を抱えて部屋に戻ってきた。X は Y が A に無理やり性交しようとしていることを察し、「何やってんの！」と Y の顔面を殴って止めさせ、これにより Y は加療約 2 週間の傷害を負った。ちょうどそこに、セキュリティ会社の警備員が到着し（A 宅の裏口の鍵が破壊されたことから、セキュリティシステム上、自動的に通報がなされていた）、X と Y を捕まえようとしたので、両名は金も持たずに逃走した。

X 及び Y の罪責を論じなさい（特別法違反の点を除く）。

以 上